

2012年10月18日

各 位

JXホールディングス株式会社

## 「第43回JX童話賞」の入賞作品について

当社（東京都千代田区大手町二丁目、社長：松下功夫）は、このたび、「第43回JX童話賞」の入選作品を別紙のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

「JX童話賞」は、「心のふれあい」をテーマに、広く一般の方々からオリジナル童話作品を募集し、優秀作品を選出しています。3月上旬から5月末まで作品の募集を行い、13,213編（一般の部10,195編、中学生の部1,244編、小学生以下の部1,774編）ものご応募をいただきました。

一般の部	10,195編
中学生の部	1,244編
小学生以下の部	1,774編
計	13,213編

このたび、児童文学者の西本鶏介先生、童話作家の立原えりか先生、角野栄子先生、女優でエッセイストの中井貴恵先生により、厳正かつ慎重な審査が行われ、各部門から計33作品の入賞が決定いたしました。

各部門の最優秀賞、優秀賞、佳作に入賞された作品については11月22日（木）に開催する「JX童話賞授賞式」にて表彰するとともに、童話集「童話の花束（その43）」<sup>（注1）</sup>に収録いたします。

<sup>（注1）</sup>「童話の花束」および「JX童話基金」については、添付の参考資料をご参照ください。

以上

### 【参考資料】

別紙1： 第43回 JX童話賞入賞作品一覧

別紙2： JX童話賞作品集「童話の花束」およびJX童話基金について

第43回 JX童話賞入賞作品一覧

《一般の部 13作品》

賞	作品名	氏名	年齢	住所
最優秀賞	キーーーーーリンだ！！	やまの だいすけ 山野 大輔	37	大阪府堺市
優秀賞	黄門様のおくりもの	すずき たくじ 鈴木 卓二	55	埼玉県さいたま市
優秀賞	今年の花火	といずみ きみこ 戸泉 妃美子	53	東京都足立区
佳作	駅で	いげざわ のりこ 池澤 典子	45	兵庫県加古郡
佳作	野の花の地図	おさき じゅん 尾崎 潤	34	大阪府高槻市
佳作	塩尻のキツネ	わたなべ かずお 渡邊 一夫	85	愛知県名古屋市
佳作	おかあさんになったお地藏さん	たけだ よしゆき 武田 義之	81	宮城県仙台市
佳作	おたがいさま	かねだ えりこ 金田 枝里子	27	埼玉県春日部市
奨励賞	ユーレイ商店街	いがわ まこと 井川 實	74	東京都江戸川区
奨励賞	風屋さん	うえだ ひろこ 上田 寛子	36	大阪府枚方市
奨励賞	ジャンケンもみじ	たなか のぶゆき 田中 信幸	61	東京都武蔵野市
奨励賞	月夜のひっこし	なかむら れいこ 中村 令子	54	茨城県ひたちなか市
奨励賞	雨女のゆううつ	やまだ まさあき 山田 正明	42	愛知県新城市

《中学生の部 10作品》

賞	作品名	氏名	学年	住所
最優秀賞	鈴の約束	いじま 飯島 ゆきの 雪乃	中学3年生	埼玉県所沢市
優秀賞	春風便	さかい 酒井 なな 那菜	中学3年生	岡山県岡山市
優秀賞	ペトとザヴェール	たにこ 谷古 つむぎ 紬	中学2年生	兵庫県西宮市
佳作	紙ひこうき	てらい 寺井 あかね	中学1年生	栃木県小山市
佳作	ライトレイン流星群	どうぐち 道口 みき 未来	中学2年生	栃木県宇都宮市
奨励賞	幻のメロンパン	おぼた 小幡 さや 紗弥	中学3年生	新潟県新潟市
奨励賞	悩みを聞く神様	さこだ 迫田 すずね 鈴音	中学3年生	大阪府大阪市
奨励賞	ゆめの旅	てらくら 寺倉 みり 実里	中学2年生	大阪府大阪市
奨励賞	春の記憶	ふじむら 藤村 みゆう 実由	中学3年生	島根県松江市
奨励賞	青色スニーカー革命	やぐち 矢口 ひめの	中学2年生	千葉県船橋市

《小学生以下の部 10作品》

賞	作品名	氏名	学年	住所
最優秀賞	かみなりの子とスイカ	ふじた 藤田 とうや 桐也	小学4年生	大阪府大阪市
優秀賞	ふしぎなほし	ねもと 根本 さくら 桜樺	小学2年生	茨城県水戸市
優秀賞	ひよこのピートと月のうさぎ	まつお 松尾 あおと 碧大	小学3年生	京都府宇治市
佳作	まほうのドレス	きのした 木下 なぎさ 渚	小学3年生	大阪府大阪市
佳作	「お留守番は晴れの日にしてください！」	ほした 星下 えみる 笑瑠	小学4年生	福岡県糸島市
奨励賞	オレはカマキリ	こみや 小宮 りょうこ 諒子	小学6年生	東京都大田区
奨励賞	落とし物	すずき 鈴木 まゆこ 茉由子	小学6年生	東京都文京区
奨励賞	スイカくん	ふなくぼ 舟久保 あむ 愛夢	小学2年生	山梨県富士吉田市
奨励賞	やもりのやたらう	なかがわ 仲川 はるひ 晴斐	小学6年生	愛知県豊橋市
奨励賞	ゆうれいバスの停留所	やました 山下 りさこ 里彩子	小学6年生	埼玉県入間市

## J X 童話賞作品集「童話の花束」および J X 童話基金について

1. J X グループは、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方からオリジナルの創作童話を募集し、その中から優秀作品を選出のうえ、一冊の童話集「童話の花束」として発行しています。
2. J X グループは、この「童話の花束」を東京善意銀行やその他の福祉団体を通じて、全国の福祉施設、母子家庭および里親家庭に寄贈しています。さらに、心のケアに役立てていただくため、東日本大震災の被災地の子どもたちや高齢者の皆さまにもお届けしています。
3. また、J X グループ各社をはじめ、ENEOSのサービスステーションを運営しているJ X 日鉱日石エネルギーの特約店や、LPガスの特約店にも「童話の花束」をお買い上げいただき、その売上金のすべてを「J X 童話基金」に組み入れるとともに、同基金から、毎年、児童福祉の一助として、社会福祉法人全国社会福祉協議会（全社協）に寄付を行っています。
4. この寄付金は、全社協が設立した「J X 奨学助成制度」により、児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の子どもたちが、大学や専門学校などに進学する際の入学支度金の一部として活用されています。昨年度（2011年度）は、301名の子どもたちが受給しました。
5. 「J X 童話基金」は、全国の児童養護施設などで暮らす子どもたちの就学支援に加え、2011年度から向こう3年程度をめどに東日本大震災の被災地の子どもたちの支援を行っていく予定です。
6. なお、「童話の花束」に使用する製紙原料には、J X グループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用され、国内の森林による二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。J X グループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。